

藤山中学校区地域協議会委員名簿 (R8.4.1現在)

	鵜ノ島小学校関係			藤山小学校関係			藤山中学校関係		
分類	所属等	人数	氏名	所属等	人数	氏名	所属等	人数	氏名
地域	鵜ノ島小学校学校運営協議会会長	3名	熊谷 直久	藤山小学校学校運営協議会会長	2名	佐貫 和巳	藤山中学校学校運営協議会会長	1名	藤嶋 敏男
	鵜ノ島小学校学校運営協議会		麻生 都	地域学校協働活動推進員		西田 豊			
	鵜ノ島小学校学校運営協議会		藤田 重治						
保護者	鵜の島地区子ども委員会	3名	石崎 輝正	藤山小学校育成会会長	2名	大藤 三法	藤山中学校育友会会長	1名	福元 寛志
	鵜の島地区母子保健推進委員会		島田 香澄	藤山小学校保護者		河口 恵美			
	未就学児の保護者		松井 圭						
学校	鵜ノ島小学校校長	1名	夏川 宗厳	藤山小学校校長	1名	浦野 ひとみ	藤山中学校校長	1名	野上慎二郎
	計	7名		計	5名		計	3名	
15名									

ご意見・ご要望	回答
学校選択制が令和8年度末で廃止になっても、兄弟が学校選択制を利用して新川小学校に通学している場合は、弟妹も申請により兄弟と同じ学校に通学できると認識していたが、未就学児も、しばらくの間は選択できるということか。	今、お住いの地域が学校選択が可能な区域だということを認識され、その土地を購入され家を建てられた方々への対応として、令和14年度小学校に入学のお子様まで、申請により就学学校を変更することができる経過措置を設けています。
現在、鶴の島地区においては鶴ノ島小学校か新川小学校のどちらを選択しても通学距離はそんなに変わらないと思うが、それでも新川小学校を選択されるご家庭においては、人数規模がある程度ありクラス替えも出来るからではないかと推測してる。新しい学校は、人数規模は確保されると思うが、通学距離が長くなることが懸念される。スクールバスなどの支援はできるのか。	新しい学校に魅力を感じられても、通学距離が遠くなるということを不安に思われる保護者の方もいらっしゃると思いますので、通学の安全確保や通学支援の方法について、今後、皆様のご意見も伺いながら検討を進めていきます。
わが子の年齢だと、令和14年度に小学校入学となるが、申請により新川小学校に就学できることで間違いないか。また、その場合桃山中学校進学で間違いないか。	令和14年度小学校入学のお子様まで、申請により就学先を新川小学校に変更が可能です。また、その場合の中学校は桃山中学校になります。
未就学児の保護者など、なかなか情報が行き届かない状況にある。先ほどの説明で周知のための通知文を郵送で送るとあったが、情報がしっかり届くよう周知をしていたきたい。	保護者の方々などが、知らなかったということが無いように、様々な機会や手段を使ってしっかり周知していきます。

宇部市立小中学校適正規模・適正配置

藤山中学校区地域協議会だより

第5号

令和 7 年度の第 5 回藤山中学校区地域協議会を 3 月 26 日（木）18 時 30 分から鶴の島ふれあいセンターで行いましたので、会議の概要をお知らせします。

今回は、令和 8 年度の協議会スケジュールの確認と新たな小中一貫校への通学方法等についての情報提供を行いました。

第 5 回 藤山中学校区地域協議会の概要

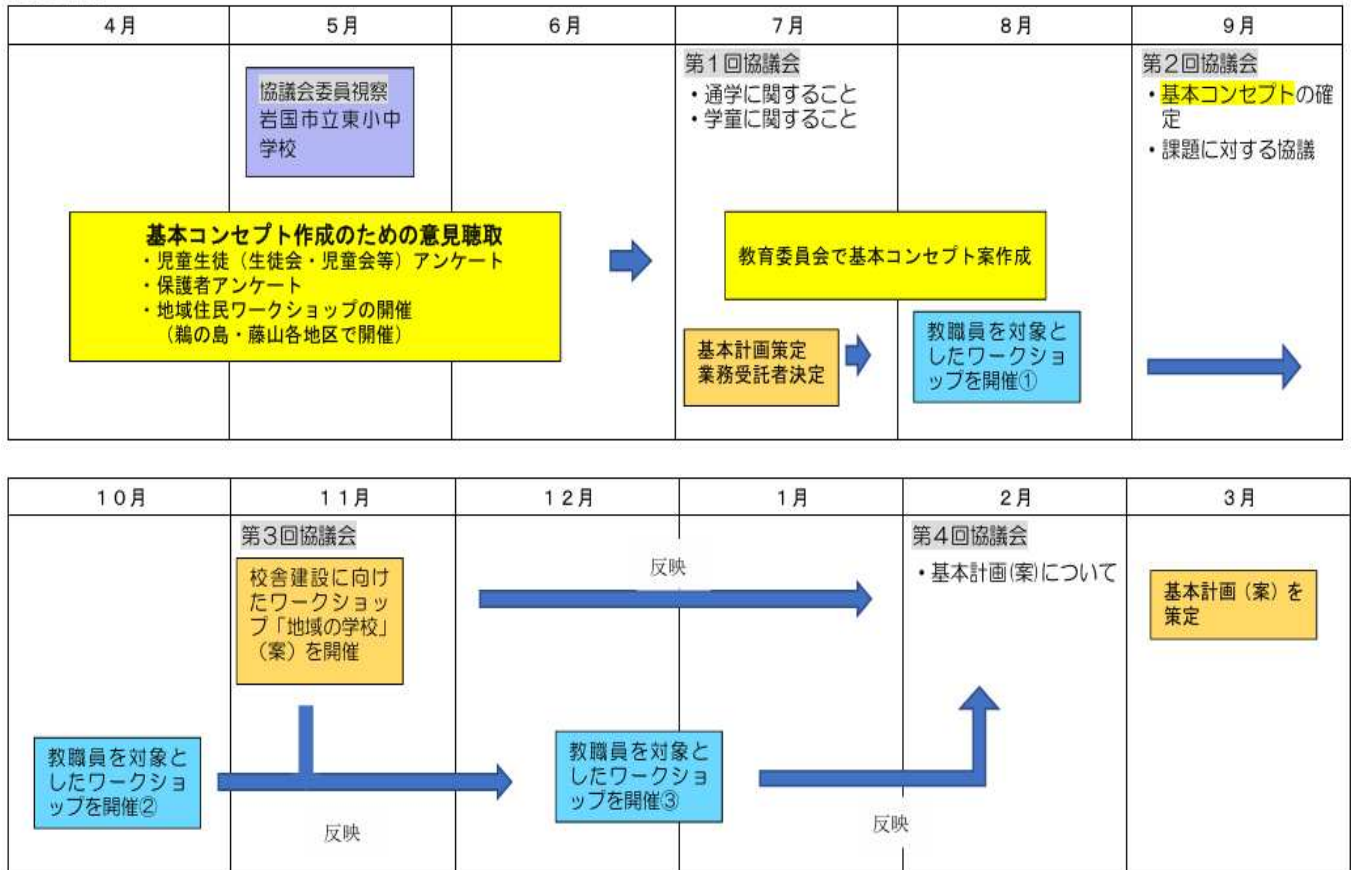
令和 8 年度のスケジュールについて

令和 8 年度は、令和 15 年度を目途に藤山中学校の敷地に設置する予定の小中一貫校の※基本計画を策定するために、児童生徒や保護者、また、教職員や地域の方々のご意見を伺うための、アンケート調査の実施やワークショップの開催などを予定しています。詳細なスケジュールについては、下記のとおりです。

（※基本計画とは、校舎や運動場などの位置や規模、費用などを大まかに決める計画のことです。）

藤山中学校区地域協議会スケジュール

令和 8 年度



■ 主な質疑

質問：ワークショップ、コンセプトなどカタカナ語の表記は、分かりにくいと思う。案内する時には、もう少しわかりやすい表記で示した方が良いのでは。

また、鵜の島地区は小学校が無くなるので、地域にとっては、大きな問題でもある。そのため、地域コミュニティの在り方についても並行して考える必要があるので、今後、市長部局も協議などに入ってくるべきではないか。

回答：ワークショップなどの表記の仕方については、ご案内をする際には、わかりやすい表現に改めます。

また、地域コミュニティに関することは、鵜の島地区にお住いの方々にとって、大きな問題でありますので、今後の地域の在り方などにつきましては、社会教育課や市民活動課などとも一緒になって、協議を進めさせていただきたいと考えています。

新たな小中一貫校への通学方法等について

新たに設置される小中一貫校は、現在の藤山中学校の敷地に建設するため、鵜の島地区から通学する児童の通学距離が長くなることから、市内の小中学校の通学距離や路線バスの状況、県内他市のスクールバスの配備状況などを確認しました。

今後、鵜の島地区の未就学児の保護者の方々などに情報提供し、意見を伺いながら、通学支援方法などについて協議を進めていくことになりました。

■ 主な質疑

質問：路線バスの利用は、どこの学校でも利用はできるのでしょうか。距離など制約はあるのでしょうか。

回答：路線バスの利用は、距離にかかわらず利用できることになっています。1年生のお子さんなどはバス停まで保護者の方の送迎が必要になりますが、利用に制約はありません。

■ 主な意見

- ・安全性の確保も重要だが、歩いて通学することも大切にしたいと考えている。
- ・新しい学校ができるのはまだ先の話になるので、アンケートを実施するのであれば、未就学児の保護者にも実施してほしい。
- ・路線バスを活用するとなれば、学校の前にある平原のバス停を子どもたちが利用しやすいように改修してほしい。また、可能なら、子どもたちが学校敷地から直接バス停に行けるようにすることなども併せて検討してほしい。

■ その他の意見

- ・2小1中の学校間交流や教員の交流などの話があったが、親同士(PTA)の交流も進めていきたいと思っている。
- ・学校運営協議会でも他の学校のことはよくわかっていないので、8年度は拡大学校運営協議会で、それぞれが自分の学校を紹介し合うような機会を設けてほしい。

【発行元】宇部市教育委員会事務局 教育総務課

☎34-8604 mail: ed-soumu@city.ube.yamaguchi.jp

※ 計画や協議内容の詳細は市ウェブサイトからご覧いただけます。
ウェブ番号 1025530

